

第一中学校

足立区立第一中学校 卒業生の皆さんへ

足立区立第一中学校の卒業生の皆さん、ご成人おめでとうございます。皆さんのが卒業してからもう5年が経ちました。今はどんな日常を過ごしているでしょうか。元気に健康に過ごしているでしょうか。みなさんは入学した時からとてもエネルギーのある学年でした。学校行事での盛り上がりもそうですが、特に、学年で歌った合唱は今でも忘れられません。

コロナ禍により、修学旅行や卒業遠足は実施できませんでしたが、それでも皆さんからはたくさんの経験と思い出をもらいました。皆さんと一緒に3年間を過ごせたことにとても感謝しています。「正義には痛みがともなう」こと、「常に変化に対応していかなければいけない」こと、「集団に貢献しようとする」こと。中学校で学んだことが、これから皆さん的人生に活かされるはずです。これから皆さんを迎える社会は厳しいかもしれません、優しさや努力する姿勢を大切に、自信をもって生きてください。社会の一員として、これからさらに活躍することを願っています。

令和2年度 緑学年担任 小峰 渉 深澤 美千代 金山 浩幸

第四中学校

第四中学校卒業生のみなさん ご成人おめでとうございます！

皆さんのが3年生になる時期は、新型コロナウイルスの影響で、たくさんの我慢を強いられたことだと思います。楽しみだった行事が次々と中止になり、悔しい思いをした人も多かったのではないでしょうか。それでも、前を向いて「今できることは何か」と一緒に考え、日々の授業に励み、受験に挑んだ姿は、今でも鮮明に心に残っています。卒業間近に行った土手での球技大会や校内での謎解きゲーム。皆さんのアイデアと行動力で実現したあの素晴らしい企画は、私たちにとっても忘れられない思い出です。あの時期に培った、逆境に負けず前向きに進む力は、これから的人生で必ず皆さんの大いな武器になります。皆さんの未来が幸多きものになることを心から願っています。

令和2年度3学年担当 遠山直樹 佐藤香織 中澤英史 齊藤麻奈美 寺田識史
高柳和子 武田典子 丹野律子 富樫好博

第五中学校

第五中学校卒業生の皆さん ご成人おめでとうございます

皆さんのが3年生として過ごした中学校生活最後の1年間は、新型コロナウイルスの影響で、辛いことも数多くありました。しかし、皆さんはいつも前向きで、その笑顔は、学年だよりのタイトル『Evergreen』のようにきらきらと心に残っています。

さまざまな制限がかかる中でも、みなさんはアイディアを出し、想い出に残る行事をつくりあげてくれました。中でも運動会は、スローガン「0から1へ～奇跡への挑戦～」のとおり、黄赤組（きせき組）で叶えた奇跡だったと思います。

多くの困難を知恵と行動力で乗り越えてきた皆さんは、きっとこれからの未来をより良くしていくことができると信じています。ご活躍をお祈りしています。

令和2年度3学年担当 逆井隆雄 堀米寛子 根元宗彦

吉野健二 斎藤千里 上尾栄美子

第六中学校

皆さん、ご成人おめでとうございます。70数名2クラスと、人數は少ながったものの、行事や部活に燃える活発な学年でしたね。しかし最後の1年、十分な思い出作りをさせてあげられなかつたことが心残りです。

これから社会は課題も多く、若い人達の負担は大きいことでしょう。もうバトンを渡しましたから、しっかりと生きて1人でもまわりの人を幸せにして下さい。幸多からんことを祈ります。元学年主任　八代　知子

第七中学校

二十歳を迎えた皆さん、心からお祝い申し上げます。

七中を卒業された皆さん、お元気ですか？皆さんとの賑やかな日々の思い出は、今でも昨日のことのように思い出されます。卒業後もたまに中学校へ顔を見せに来てくれた人もいましたね。その度に元気をもらいました。ありがとう！

これまで支えてくれたご家族、友人、先生方への感謝の気持ちを胸に、これからは自分自身の責任で選び、進んでいく道が始まります。迷いながらも、自分の信じた方向に一歩一歩進んでください。

これから的人生が、希望と可能性に満ちた素晴らしい旅路であることを心より願っています。

第七中学校 元3学年 大島・安井・佐久間・久保・末永・大渕・鈴木・高橋・柴田

第九中学校

二十歳になった赤学年の皆さんへ

第九中学校を卒業し、二十歳になった皆さん、おめでとうございます。九中での生活は覚えているでしょうか。様々なことがあった3年間でしたね。生徒のみなさんも先生方も、個性豊かな集団だったと思います。皆さんの合唱が先生たちは大好きでした。あの歌声を、またどこかで聞いてみたいものです。中学時代に發揮してくれた皆さんのパワーをさらに磨き上げ、これから社会と自分たちのために生かしてほしいと思います。陰ながら応援しています。

令和2年度 赤学年 学年主任 4組担任 温井かほる

1組担任 小嶋将太 2組担任 神澤悠太 3組担任 大久保卓

5組担任 下村史孝 萩原智慧 新田敦彦 棚村力也 高橋由加里

第十中学校

二十歳の門出を迎えたこと、心よりお祝い申し上げます。

中学校生活における最高学年として、たくさんの場面で活躍するはずだった1年間が大きく変わってしまったことは今でも鮮明に覚えています。

夏の総合体育大会中止を伝えたとき、廊下に泣き崩れる3年生と一緒に涙を流した時間は私たちにとっても本当につらい思い出になりました。運動会、合唱祭、学芸発表会、修学旅行… すべての行事が中止となり、卒業式で読み上げられた生徒代表の言葉では『テスト学習が1番の思い出です』という話もありましたね。あの時の学年教員は、絶対に志望校に合格させることを誓って、皆さんにものすごい量の課題をプレゼントしていたことをはっきりと覚えています。

社会が暗くなりがちな時期に、元気と光を与えてくれたことで多くの人が救われました。苦難が続く状況でも下を向かず、更なる成長の機会に変えてみせた皆さんは私たちの誇りです。この学年は特別です。これからより良い社会と時代を作り出してくれると信じています。ご活躍を心よりお祈りします。

令和二年度卒業生担当教職員一同

第十一中学校

第十一中学校 卒業生の皆さん ご成人おめでとうございます。

元気にはしていますか。

新型コロナウイルスの影響で休校や分散登校から始まった中学3年の春。我慢の続く毎日でした。楽しみにしていた修学旅行や運動会、部活動の大会など、3年生としての集大成の行事がことごとく奪われてしまいました。

「三密」「ソーシャルディスタンス」、そしてマスクで顔を覆う日々…今振り返ると懐かしく感じられますね。

そんな先が見えない中でも、現実を受け入れ、自分の「これから」と大切な人の「命」に真剣に向き合い、前へ進んだ皆さんの姿はとても素敵でした。

そして今、二十歳という節目を迎え、これからはさらに大きな責任を担うことになります。時には嫌になったり、逃げ出したくなったりすることもあるかもしれません。それでも皆さんのが笑顔で幸せな人生を歩んでいけるよう、これから先もずっと応援しています。顔晴れよ。

足立区立第十一中学校 令和2年度 第3学年教員一同

第十二中学校

成人おめでとうございます

足立区立第十二中学校卒業生の皆さん、早いものでもう成人式を迎える年となりました。君たちが在籍していた三年間、コロナの影響で大変なことも多くありました。きみたちの成長していく姿が見られて、楽しかった思い出も多くありました。

今、君たちはどうしていますか？自分の「今」を生きているでしょうか？まだ、自分の進む道に霧がかかったように見えずに迷っている人も少なからずいると思います。そんな時は自分が信じた道を自分の歩みを一步一步踏みしめながら真っすぐに進んでください。それぞれの人によって、時間はかかるかもしれません、きっといつか霧が晴れて、はるか遠くに続く道が見えてくるはずです。その日が来るまで元気で頑張ってください。大きな夢も大切ですが、まだ夢を見つけられない人は一日一日を大切に後悔のないように生きることだけでも素晴らしいことです。小さな幸せを大切にできる大人になれる事を願っています。

元学年主任 佐藤弘文

第十三中学校

第十三中学校 令和2年度卒業生のみなさんへ

入学当初は誰もが“当たり前”の中学校3年間の学校生活と思っていました。先生方も君たちと一緒に生活しながら日々の成長を頼もしく感じ、最高学年になった時の行事や部活動での頑張り、活躍を楽しみにしていました。ところが2年生の3月からコロナ禍による休校措置があり、新学期を迎えるも“日常”は戻らず、しばらくは分散登校でした。ようやく学校再開となったものの、修学旅行や運動会が中止となってしまい、がっかりしたこともありました。そのような状況の中、一人一人が進路と真剣に向き合うエネルギーに換え、受験を乗り越えました。卒業間近の学習発表会では作品展示、吹奏楽部の演奏、7組の舞台発表と思い出深いものとなりました。家族や地域の方々からもたくさん支えていただきました。あれから5年…今度はみなさんがこれから社会を支える時です。大変な時期を乗り越えてきた皆さんならきっとできると信じています。これからも健康第一で、そして更なる活躍を願っています。ご成人おめでとうございます。

令和2年度青学年担当 古川哲也 野口友大 田中宏伸

田辺大二郎 成島亮如 松森由美子

瀧野靖之 島田桂子 斎藤智美(文責)

第十四中学校

燃える ❤ ハートの赤シバージ

愛する十四中卒業生の皆さん 20歳の集い キラリ
おめでとうございます

中学校の3年間とっても濃い3年間でした。教師である私達は
本気で怒ってめちゃくちゃ叱咤して、そして心の底からあなた達を
愛して一緒に笑いました。修学旅行に行かせてあけらんかったこと、
校庭での卒業式、一生の思い出です。私達はいつでもあなた達の
応援団 内 幸多き人生であることをいつも祈っています

平井 畑上
横山坂本